

社会新報個人版

岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子

活動報告

No.9



いきいき通信

発行所／社会民主党全国連合機関紙宣伝局

東京都千代田区永田町1-8-1

佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子16-154-3

(0197-77-2126)

感謝 市議選では大変お世話になりました

みんなで勝ち取った 1816 票・7 位当選！！



ごあいさつ

3月の市議選は、30名の定員に対し31名の立候補という少数激戦。誰が最後の一人になっても不思議ではない混沌とした中、最終的には新人が強さを見せ、ベテラン組の苦戦が象徴的でした。

私は、9年間の議員活動で「子育て支援」や「高齢者の医療福祉制度充実」にこだわったこと、「新総合計画策定」に真の市民参画プロセスを大事にしたいこと、「東芝新工場と正規雇用拡大」と「当面の財政問題」、「新

統合県立病院」のガンケア病棟の充実や院内助産所の開設、手数料等の「市民負担増」に対する市民への説明責任など訴えました。

しかし、結局のところは国のゆがんだ政策に縛られていることも現実であり、地域の声を市議会から県政・国政へつなげていくための行動を起こしていくために、議席がなければ発信できないということなど…訴えました。

選挙の準備、挨拶行動、電話行動、選車運行、集会企画、食堂、集票など、危機感をバネに必死に取り組んで下さった皆さんに深く感謝申し上げます。

毎年好評の

佐藤ケイ子を囲む 納涼パーティーのご案内

とき 7月30日(水)午後6時30分
ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)
会費 男性 2,000円・女性 1,000円

～歌・踊・抽選会あり・とび入り歓迎～

今回は日程調整がむずかしく平日の開催ですが、誰でも入場できますので、お誘いあわせの上ご参加願います。



いつも、みなさんの
芸で盛り上げて頂い
ております



この1年間の一般質問

毎回登壇し、こんなことを取り上げました。
紙面の関係で項目のみ掲載します。



19年9月議会

(1) 行政サービスの検証は協働で

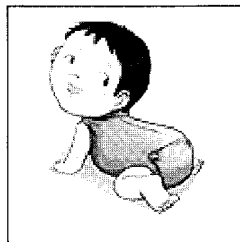
手数料増や補助金見直しを行う「行政サービス検証指針」が示されたが、公益性や必需性の判断こそ市民との協働作業を行うべきではないか。

(2) 公契約条例の策定を

行政が業務委託や指定管理等で非正規雇用を助長しているのではないか。公正労働基準や環境、地域産業支援などの社会的価値の実現を図るため、「公契約条例」の策定を。

(3) 出産環境の拡充を

産科医療体制は深刻な問題になっている。助産師外来や院内助産所を設置するよう県に要望してほしい。不妊治療の助成は、県の制度で救えない人に範囲を拡大すべきではないか。



19年12月議会

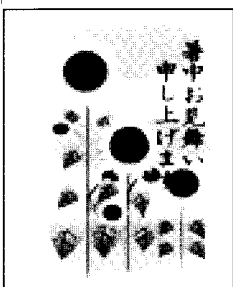
(1) 健康指導体制の充実を

- ①経済的理由から健診を受けない妊婦が増加傾向にある。健診の公費負担拡大を。
- ②メタボリック対策の特定健診と指導が義務付けられるが、保健師の体制は充分か。
- ③財政難とメタボ対策の陰で、がん検診事業の後退をさせないこと。

(2) 負担増の前に優先施策の評価を

①税収確保のため、法人市民税の超過税率を適用している市町村がほとんどである。各種の市民負担増を求めているが、法人にも負担をお願いできないか。

- ②行革緊急プログラムの効果と構造改革の進行状況は。
- ③企業補助は7億円余と高額になったが、中間評価は。
- ④非正規雇用の実態把握を。



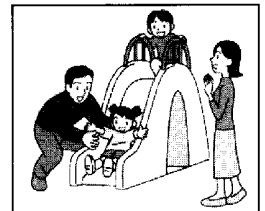
20年3月議会

(1) 道路特定財源の見解は

- ①道路特定財源はどう反映されているか。一般財源化や環境税等の見直しを市長会から求めるべきではないか。
 - ②財政健全化法の対応で将来負担率が問われる。工業団地や宅地造成会計、開発公社の資産を優良資産と位置づけている根拠は何か。
- #### (2) 東芝の新工場について
- ①東芝の新工場進出は喜ばしいニュースである。波及効果はどうか。
 - ②100億円以上の税収増がマスコミで報じられているがどうか。
 - ③企業補助金の額はいくらを見込んでいるか。
 - ④補助金の条件に正規雇用確保を規定できないか。

(3) 子育て支援の取り組みは

- ①保育ニーズに応えるため施設の増築を。
- ②岩崎の認定子ども園に保護者の意見反映を。
- ③病後児保育の拡大を。
- ④ファミリーサポートセンターと子育て支援センターの体制充実を。産褥期サポート事業の取り組み状況は。
- ⑤放課後子どもプランの策定にどう対応するのか。



(4) 新統合病院の開院に向けて

- ①緩和ケア病棟の充実にもむけ、北上市がん基金の活用策を患者会と協議すべきではないか。
- ②院内助産所や助産師外来の要望を。

(5) 教育環境の充実を

- ①小学校2学年までの少人数学級(35人)を3学年以降も実施できないか。
- ②教職員安全衛生規程が機能しているか。

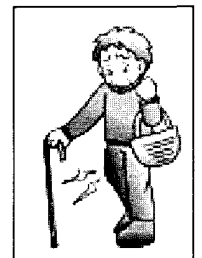
20年6月議会

(1) 介護保険事業の充実を

- ①要介護者数と介護給付費の状況は。
- ②施設整備の状況と待機者は何人か。
- ③介護職場の待遇が全国的に問題になっている。市内の実態把握を。
- ④来年度からの第4期介護保険事業計画策定手順は。

(2) 後期高齢者医療制度の状況

- ①制度導入に市の負担と苦情の件数は。
- ②保険料は国保税と比較してどうか。
- ③人間ドック補助の復活を。



所属委員会等

総務常任委員会(委員長)
岩手県後期高齢者医療広域連合議員(7月から)

活動あれこれ

佐藤ケイ子ホームページにお越し下さい
ブログ(日記)で活動を紹介しています

10月6日北上市職労 自治研集会 「どうなる?どうする?ごみ有料化」 ～納得のサービスと負担を考えよう～



講演は「ちょっと待って有料化」と題して山口正己教授(立正大学)。その後市環境課からの説明、自治研推進委員会の提言、有料化賛成者・反対者・その他意見等の発表、会場内意見交換となった。

10月16日 ごみ減量化について 市長に提言書提出



自治研集会の意見をまとめ「家庭ごみ手数料化方針への提言」を市長に手渡した。参加者アンケートは、賛成が25%、反対が65%という結果で、その他の意見も多数寄せられた。市職労としては、住民合意を得るプロセスが大事であること、協働の精神で慎重に進めるべきという立場で提言した。

12月19日 12月議会最終日 農集排使用料アップを含む廃棄物処理 手数料は否決、下水道使用料は可決

今回の議会には、幼稚園保育料のアップや農業集落排水使用料、下水道使用料の大幅アップが提案されていた。石油高騰やゴミ有料化の問題もあり、市民に負担を増加させる時期ではない…財政が厳しく仕方がない…、など賛否が交錯していた。

私は、農集排と下水道の採決は、責任を明確化するため個々の議員の賛否を赤らかにすべきと主張し、記名投票の動議を出した。農集排は14対13で否決、下水道は10対18で可決となった。

12月27日社民党福島みずほ党首と 阿部知子衆議院議員と遠野助産院へ



社民党の福島みずほ党首と阿部知子政審会長は、出産環境を調査。花巻の「お産と地域医療を考える会」との意見交換や、遠野助産院「ねつ・ゆりかご」の視察を行い、助産院の監督医である大船渡病院の小笠原医師から意見を聞いた。党では、「産声の聞こえる街づくり」を重点政策に掲げた。

5月18日「江釣子清水(すず)の里」 草刈り作業



「清水(すず)の里」は、湧き水が点在している遊歩道。北上市の景観ポイントである。年3回5時30分から、地区民が草刈機械や鎌を持ち寄って作業を行っている。毎年10%ずつ委託料が減額され、立ち木の剪定問題など責任と金額について不満が出ている。地元の環境美化のために協力するのは当然と皆が思っているが、「協働」というより「格安な押し付け」になりつつある。

5月20日 会派合同研修、 山形県長井市のレインボープラン(生ごみ堆肥化)



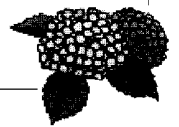
市民ネットクラブと社民クラブの合同研修を行った。生ゴミ堆肥化を長年取り組んでいる長井市を視察し、今懸案になっている北上市のゴミ有料化が真に環境対策なのか方向性を比較し模索することがねらい。(写真は堆肥化センターを視察する同僚議員)

6月11日〇〇議員の一般質問 市職員給与、誤った資料が一人歩き

6月11日の一般質問で、ある議員が職員給与の問題を取り上げ、「なぜ北上市の職員給与は花巻より100万円高いのか?」と発言した。「給料表も同じなのでおかしいな…?」と思った。

翌日の総務常任委員会での資料では、花巻市は職員数に誤りがあり、花巻市ホームページは間違っているということ。北上市の職員は、平均年齢が高いが、人件費比率は県内で2番目に低い。人口1千人あたりの職員数は、6.5人で県平均8.6人を下回り、少数精鋭で仕事をしているということだった。

誤った情報が出回ると、みんなが困ることになる。



6月12日総務常任委員会 条例改正のうち、1件を全会一致で否決

総務委員長として「自分が地域に行って説明できるよう、審議を尽くしてほしい」と、冒頭に申し上げたこともあり、今回はかなりの時間を費やし質疑を行った。

問題になったのは、当初は簡単に考えていた県証紙の売りさばきを廃止するという案件。質疑をすればするほど、住民サービスの低下になる、市の収入が減る、費用対効果が合っていないということになり、異例の全会一致で否決となった。本会議でも同様の結果であった。

(活動あれこれ No.2)

6月18日 6月議会最終日

家庭ゴミ有料化が可決された

反対12票・賛成17票でゴミ有料化が可決された。反対討論は3名(共産・社民・北政会)、賛成討論は1名(新清会)だった。

当初案は4月実施予定だったが、「市民の理解と協力が必要」という議論の末、今回の提案。12月から実施される。

説明会を4巡(140ヶ所)行ったのは非常に良かったと思う。担当課の苦勞も理解するが、「住民合意の判断基準」「低所得者への配慮」「リバウンド問題」「不法投棄問題」「分別と減量はトップレベルなのになぜ有料なのか」「企業責任を問わない国の制度問題」……まだまだ課題が多い。

6月22日 市婦協第17回ペタンク大会



市婦協は「明るい選挙」の啓発活動の一環として、ペタンク大会を開催した。忙しい中での資料の作成や諸物品の準備は大変だった。盛会裏に終了しホッとしている。

6月28日和賀川グリーンパークの

三角花壇に花を植えました



30人ほどが集まり、マリーゴールドやサルビアを植えた。花が咲くと「北上」の文字が見えるように設計されているので、咲くのが楽しみである。

7月5日(土)江釣子婦人会

創立60周年大会盛大に開催



江釣子婦人会「還暦祝い」の年。私は会長として、数ヶ月前からこの事業に取り組んできた。

第1部は「福祉フォーラム」。講師はIBCの菊池幸見アナ。講師の知名度と魅力で、入場者は400

名近くになり、会場に入りきれずロビーで聞くほどの大盛況。

第2部は「式典」となり、「60年間のあゆみ」をスライド上映し、歴代役員表彰を行った。

第3部は「祝賀会」で、各地区からのアトラクションが出て大盛り上がり宴会となった。まずはホッとしているが、これから記念誌の作成も大変である。

7月7日(月)県後期高齢者医療広域連合

議員選挙の当選証書交付

後期高齢者医療制度の保険料や給付の内容は、各県ごとの広域連合が決めて実施している。首長10人と議員が10人で広域議会が構成されているが、今回は2名の欠員に対して3名の立候補(北上市議の佐藤ケイ子、金ヶ崎町議の千田、紫波町議の村上)があり、県内全市町村の6月議会投票を行った。結果は千田・佐藤が当選した。

いろいろ問題のある制度であるが、市民の声を反映させるよう取り組みたい。

7月12日 岩手4区 女性サミット

～私たちはもう黙ってられない～

この会報が届く頃には盛大に終了しているはず

講演①「平和でなくては笑ってもらえない」古今亭菊千代さん

講演②「命あればこそ」～出会いに感謝～ 小原宣良さん

リレートーク 今の政治に黙ってられない!!



菊千代さんは、NHK朝ドラ「ちりとてちん」のモデルで初の女性落語家である。憲法9条の落語など多彩な平和活動を精力的に行っている。

いつ衆議院の解散総選挙が実施されるかは不明だが、確実に準備を進めていくために、まず女性たちが動きだした。

宣良さんの挨拶行動も出勤開始となっている。今後お宅にも行きますよ。

おすすめ映画鑑賞

婦人会映画会「不良少年の夢」

涙と感動の映画です

北海道の北星余市高校は、日本で初めて「高校中退者も受け入れる」高校である。この映画は、同校に編入して来た不良少年の義家弘介が、教師や余市の大人たちと出会い心を開き卒業する。そして10年後に母校の教師として余市に帰って来る、という実話をもとに作られた作品である。

(あとは見て下さい)

▼市婦協は、この収益金を北上市福祉基金に寄附し社会貢献の活動とするものです。(19年度は20万円寄付しました) ご協力を…。

期日 7月26日(土)

時間 ①午後2時 ②午後6時

場所 さくらホール(大ホール)

入場料 大人1,000円 小中高500円

チケットは市婦協会員、福祉団体等、フレッシャーズ

あとがき

3月の市議会議員選挙では、皆様からのお力添えをいただき、ケイ子さんを議会に送り出すことができました。事務局一同、深く感謝申し上げます。

新議会では、総務常任委員長を担うことになり、これまでの活動も大切にしながら大車輪で奮闘中です。少しでもケイ子さんの力になれるよう、がんばりたいと思います。

ケイ子さんの家では、この4月から夫婦二人の生活がスタートしています。久々の新婚気分を満喫していることでしょう…… (事務局)